

令和2年度 学校関係者評価報告書



学校法人 本山学園
インターナショナル岡山歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

令和3年4月8日

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人本山学園
岡山医療技術専門学校
インターナショナル
岡山歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人本山学園 岡山医療技術専門学校並びにインターナショナル岡山歯科衛生専門学校 学校関係者評価委員会は、前出の2校による「令和元年度自己点検・評価報告書」の結果に基づき、令和2年12月23日に学校関係者評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属
高柴 正悟	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 病態機構学講座 歯周病態学分野 教授
熊代 功児	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 理学療法士
妹尾 洋明	公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 作業療法士
六車 剛	一般財団法人 志清会 岡山記念病院 事務長
湯浅 信夫	ユアサ工機株式会社 会長（技術顧問）
延原 康子	一般社団法人 岡山県歯科衛生士会 理事

本学園出席者

氏名	所属
窪山 泉	岡山医療技術専門学校 校長 兼 インターナショナル岡山歯科衛生専門学校 校長
横山 暁大	岡山医療技術専門学校 理学療法学科 教務主任
太田 正美	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校 教務主任

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施については、令和元年度に行われた「自己点検評価」を学校関係者評価

委員の皆さまにご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価を取りまとめました。

また、評価結果については、今後の各校における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かすとともに教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等にて公表いたします。

3. 令和元年度自己点検・評価における学校関係者評価

評価項目における学校関係者の評価及び意見、提案（以下、「評価等」という）をご報告いたします。

評価数値

5. きわめて進んでいる 4. かなり進んでいる 3. 進んでいる 2. やや進んでいない
1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校 学校関係者評価書

(1) 教育理念・目標

評価項目		自己評価	学校関係者評価
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5	5
②	学校における教育の特色は明確か	5	5
③	学校の将来構想を抱いているか	5	5
④	学校の理念・目的・育成人材像などが学生・保護者等に周知されているか	5	4.8

(2) 学校運営

①	目的等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5	4.8
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5	5
④	人事、給与に関する規則等は整備されているか	5	4.8
⑤	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	5	5
⑥	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5	5

⑦	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4.2
⑧	学校の要望や意見を反映した学校運営がなされているか	5	4.8

(3) 教育活動

①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	5
②	教育理念、養成人材像や業界のニーズに照らして、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5	4.8
③	学科等のカリキュラムは関連分野のニーズに照らして体系的に編成されているか	5	4.8
④	関連分野の医療施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	5	5
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	5	5
⑦	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5	5
⑧	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	4.8
⑨	人材育成目標の達成に向け授業が行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	4.9
⑩	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか	5	4.8
⑪	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4.5

(4) 学修成果

①	就職率の向上が図られているか	5	5
②	資格取得率の向上が図られているか	5	5
③	退学率の低減が図られているか	4	4.5

④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5	5
---	----------------------------	---	---

(5) 学生支援

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	5
②	学生相談に関する体制は整備されているか	5	4.8
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5	4.8
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4.5
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	5	4.8
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	5	5
⑦	保護者と適切に連携しているか	5	5
⑧	卒業生への支援体制はあるか	4	4.7

(6) 教育環境

①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	5
②	学外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	5	5
③	防災に対する体制は整備されているか	5	4.8
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	5	5

(7) 学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は、適正に行われているか	5	5
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	4.8
③	学納金は妥当なものとなっているか	5	5

(8) 財務

①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	5
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	5
③	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
④	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5

(9) 法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	5
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	5	4.8
④	自己点検・自己評価を公開しているか	5	5

(10) 社会貢献・地域貢献

①	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	5	4.8
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5	5.0
③	地域に対する貢献を積極的に実施しているか	4	4.3

(11) 国際交流

①	国際的視野・感覚を養うための取り組み等を行っているか	4	4.3
②	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	4.2

【総評】

校名にある「インターナショナル」を活かす取り組みが必要である。コロナ禍で海外研修等はできないが、地域によっては国際性豊かな状況となっているので、地域の外国人へのボランティア活動とか色々な対応が可能であり、教員に限らず学生からの意見を取り入

れることも必要である。学生同士で行った取組みについて発表して相互評価することも効果的である。また外国語の資格認定試験を受験させることも考慮してはどうか。

退学率の低減については、教員配置や卒業生との交流などでモチベーションを維持させる工夫も考えられる。